

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応募者に関する情報

記入日：平成24年 11月 26日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) アースサポートカブシキガイシャ
	アースサポート株式会社 (団体名) <small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している 主な団体名をご記入下さい。</small>
応募 担当者 連絡先	団体名： アースサポート株式会社
	所在地： 〒 690-0025 島根県松江市八幡町 882 番地 2
	部署名： 総務・企画部
	役職名：
	氏名： 石田亜友美
	TEL： 0852-37-2890 FAX： 0852-37-2892
	E-Mail： aishida@earth-support.jp
ホームページ	http://www.earth-support.jp/
応募団体の主たる事業 当社は、昭和38年にビルメンテナンス、廃棄物の収集運搬・処理を目的に設立し、廃棄物の適正処理、リサイクル事業・ビル総合管理業・ビル清掃業務・設計業務・指定管理業務を通じて「都市空間における総合的環境管理」サービスを提供している。	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data1ist.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

島根県・アースサポート株式会社の自己活動における、国内クレジットと J-VER を用いた地産地消・被災地支援型カーボン・オフセット

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/kijun.pdf>

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

バウンダリ：全社の電力使用
収集車両に係る燃料使用
営業車両に係る燃料使用

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

2010年10月～2011年9月

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社HP等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URLを記載願います。

・アースサポート 環境への取組み
<http://www.earth-support.jp/environment/evv11.html>

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)

①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

収集車両、営業車両、工場内重機、電力使用によって発生した CO2 排出量

■2010年10月～2011年9月

排出量：2,756t-CO2

オフセット量：138t-CO2

項目	2010年10月～2011年9月(t-CO2)
CO2 排出量	2,756
国内クレジット	66t
オフセット量	J-VER 72
	合計 138(5%)

①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

電力使用量、軽油使用量、A重油使用量

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組にをつけてください(複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電
 節水
 廃棄物の減量化
 省電力機器の導入
 公共交通機関の利用・呼びかけ
 その他(具体的に)

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合(%)についても記載してください。

国内クレジット：66t-CO2 (47.8%)

J-VER：72t-CO2 (52.2%)

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

■国内クレジット

創出事業者	協同組合仁多ショッピングセンター	アルファー食品株式会社
創出事業	ショッピングセンターにおける空調設備の更新(灯油、電気→電気)、照明設備の更新(LED化)	食品工場(米)におけるボイラーの更新(重油→重油)、空調設備の更新(電気→電気)、エアコンプレッサーへのインバーター制御の導入、照明設備の導入(LED化)
識別番号	00634-1～00634-10	00729-1～00729-56
オフセット量	10t-CO2	56t-CO2

■J-VER

創出事業者	釜石地方森林組合
創出事業	釜石地方森林組合による集約施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業
識別番号	JP-200-000-000-035-968～JP-200-000-000-035-999 JP-200-000-000-036-0～JP-200-000-000-036-39
オフセット量	72t-CO2

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

■国内クレジット

2012年4月25日に償却

■J-VER

2011年11月9日に無効化

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

【ISO14001 取得】

2001年3月にISO14001を認証取得し、年2回の内部監査を行うことで、マネジメントシステムの精度を向上させている。外部の審査機関による審査においても、改善指摘事項はなく、前回の審査ではカーボン・オフセットと小学校に対する環境教育についてグットポイントの評価を得ている。

【LED照明導入】

2010年8月に本社事務所内の全ての照明をLED化したことを皮切りに、工場内の照明のLED化も推進している。LEDを蛍光灯と比較すると、電力消費量は40%～75%少なく、CO2排出量は60%、寿命は3倍の約4万時間である。また、自ら使用することでLEDの特性や使用感を把握し、顧客に対しての省エネ支援も展開している。

【太陽光パネル導入】

2011年7月に、当社のRPFプラント建屋の壁面に太陽光パネル42枚を設置し、年間約3,000kwhの発電を行っている。廃棄物処理に必要な電力の一部を太陽光発電の電力でまかなうことが可能となり、さらに、事務所入口に発電量やCO2削減量を液晶画面に映し出すことで、省エネの見える化を推進している。

【BEMS導入】

2012年8月にBEMS（Building and Energy Management System）を導入したことで、会社全体のピーク電力量及び使用電力量の可視化が可能となった。さらに、ピーク電力量を自動設定し、ピーク時はパトライトの点灯及び自動制御によって電力量を抑制することができる。現在は、稼働スケジュールの調整などによって使用電力量がどのように変化するか等の検証を行っている。

【温暖化防止に対する地域の取組みに協賛】

島根県では、地球温暖化防止活動を自主的かつ積極的に取り組む県民や企業等により「島根県地球温暖化対策協議会」が結成されており、当社もその一員として活動を行っている。また、「しまねストップ温暖化宣言」やCO2ダイエット作戦協賛店舗にも登録している。当社のホームページでは、カーボン・オフセットの事例や数値を公表している。

【チャレンジ25への参加】

2009年に、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比25%削減が表明されたことを受け、当社は地球温暖化防止のための国民運動「チャレンジ25キャンペーン」に登録し、排出削減に向けた「チャレンジ25宣言」を行った。

2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

2008年より当社の工場や廃棄物収集車両、営業車両の燃料等によって排出されるCO2の一部を植林によりオフセットしている。2011年11月には岩手県釜石地方の森林組合によって創出されたクレジット排出権を購入することによってオフセットした。今後も全社的にカーボン・オフセットを行っていき、その実績を随時当社のホームページで公表していく予定である。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

当社が排出権購入によるカーボン・オフセットを行った釜石地方森林組合は、東日本大震災によって事務所が全壊するなど甚大な被害を受けていた。そこで、地球温暖化防止という目的だけでなく、排出権を購入するという事で被災地の経済を刺激し、復興に寄与するという目的でオフセットを行った。

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

【しまね地球温暖化防止活動大賞受賞】

島根県地球温暖化対策協議会は、地球温暖化に関し、先進的または他の模範となる活動実績のあった事業者等に対し、その実績を表彰する「しまね地球温暖化防止活動大賞」を実施している。当社も地球温暖化防止につながるCO2削減の取組みについて応募し、平成21年、平成22年は2年連続で「優秀賞」を、平成23年は「大賞」を受賞した。受賞については、当社ホームページやCSR報告書に掲載し、より多くの方へ当社の取組みを公表することで、地球温暖化防止の啓発を行っている。

【地元住民見学会、環境教育の実施】

当社の取組みを地域住民の方へ報告し、施設を見学していただく「地元住民見学会」を毎年開催しているほか、地域の小学校への環境教育や施設見学の随時受付など、当社の取組みを広く公表し、地球温暖化防止への関心の高まりに寄与している。

5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

釜石地方の森林組合の排出権購入によるカーボン・オフセットは地球温暖化防止というだけでなく、被災地支援にもつながる取組みとなっている。この取組み実績は、2011年12月7日付の「日本経済新聞」、「山陰経済ウィークリー」2012年1月号等に掲載された他、当社のホームページやCSR報告書においても掲載している。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDFの場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園3-1-8 芝公園アネックス7階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp